

## 日常生活圏域ニーズ調査の調査項目の考え方

- 日常生活圏域ニーズ調査の調査項目の変更に伴い、調査項目の考え方について以下のとおりお示しするので、ご参考とされたい。

### <調査目的>

このニーズ調査は、主に生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握し、高齢者の生活状態に合った介護(予防)サービスや権利擁護などの各種福祉サービスを提供するために行うものです。

具体的には、調査結果を日常生活圏域ごとにまとめることによって、地域の高齢者の生活状態からみた課題、各サービスニーズを把握し、これを計画に反映していきます。

計画の実行段階では、個別に対応・アプローチするための基礎資料として、本調査の結果(回答内容及び生活機能ごとの評価結果)を有効に活用することができます。

以下は、少しでも多くの高齢者に回答していただくため、質問の趣旨などを簡潔に説明したものです。

### <共通的事項>

- ①宛名ラベルは、個人を正確に特定するため、必ず連番を記載してください。
- ②本人が回答・記入していただくのが原則ですが、高齢で本人の記入が難しかったり、本人の判断が困難な場合は、ご家族などが本人に代わって回答していただいて結構です。
- ③対象者には、あまり深く考え過ぎず、主観に基づき回答してもらって下さい。それが適当な回答であるかどうかの判断は、評価する側が行って下さい。
- ④期間を定めていない質問項目については、現在の状況について回答してもらって下さい。
- ⑤習慣を問う質問項目については、頻度も含め、本人の判断(それができない場合は記入者の判断)に基づき回答してもらって下さい。
- ⑥各質問項目の趣旨及び回答方法は次ページ以下のとおりです。各地域の実情に応じて適宜解釈していただいて結構ですが、基本チェックリストの各項目など、質問によっては評価結果に影響しますので、評価の基礎になっている各質問項目の表現は変えないで下さい。
- ⑦追加設問を設けることも可能ですが、個人が特定できる調査のため、個人の考えをたずねるような設問はさける必要があります。

問1 あなたのご家族や生活状況について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1	家族構成をお教えてください	一人暮らしか家族と同居かなど、対象者の家族構成を問う質問です。家族関係も複雑化していますが、この調査では二世帯住宅の場合も実態としては同居に近いということで選択肢を設けています。
Q1-1	(家族など同居されている方のみ)ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか	家族の人数をきくとともに、誰と暮らしているかなどを問う質問です。家族構成で「一人暮らし」と回答していても人数を「2人」と回答する場合がありますので「ご自分を含めて」を強調しています。
Q1-2	(家族など同居されている方のみ)日中、一人になることがありますか	生活支援サービスの対象になりにくい日中独居の高齢者を把握するための質問です。
Q2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	介護の必要性とともに実際に要介護状態にあるかどうかを問う質問です。介護認定を受けていなくても本人は介護が必要と考えているケース、また認定を受けていても介護が必要でないとするケースも明らかになります。
Q2-1	(介護・介助が必要な方のみ)介護・介助が必要になった主な原因はなんですか	介護が必要になった原因を問う質問です。要介護(支援)認定者のこの質問に対する回答によって地域ごとの要介護原因別の認定者数が推計できます。
Q2-2	(介護・介助を受けている方のみ)主にどなたの介護・介助を受けていますか	要介護者の介護者が誰かを問う質問です。
Q2-3	(介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか	介護者の年齢を問うことにより、いわゆる老・老介護状態にあるかがわかる質問です。
Q3	年金の種類は次のどれですか	対象者の経済状態と関連する年金の種類を問う質問です。
Q4	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	経済状態と関連する経済的な生活感を問う質問です。
Q5	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	住宅の形態を問う質問です。
Q6	お住まいは、次のどれにあたりますか	住宅の所有形態を問う質問です。高齢者向け賃貸住宅のニーズを把握するための参考になります。
Q7	お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか	居室が2階以上にあるかを問うことにより、転倒リスクの有無や外出機会の多寡の参考になります。
Q7-1	(2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか	居室が2階以上にある場合にエレベーターがあるかを問うことにより、転倒リスクの有無や外出機会の多寡の参考になります。

## 問2 運動・閉じこもりについて

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかどうかを問う質問です。時々、手すり等を使用している程度であれば「はい」とします。手すり等を使わずに階段を昇る能力があっても、習慣的に手すり等を使っている場合には「いいえ」となります。
Q2 ㊦	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかどうかを問う質問です。時々つかまっている程度であれば「はい」とします。
Q3 ㊦	15分位続けて歩いていますか	15分位続けて歩いているかどうかを問う質問です。屋内、屋外等の場所は問いません。
Q4	5m以上歩けますか	5m以上歩けるかによって、居室の外に移動できるかを問う質問です。閉じこもりに関連して、身体的要因による閉じこもりか、それ以外の要因によるかの判断材料になります。
Q5 ㊦	週に1回以上は外出していますか	閉じこもり状態にあるかを外出頻度によって判断します。頻度が異なる場合は、過去1ヶ月の状態を平均してください。
Q6 ㊦	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	昨年の外出回数と比べて、今年の実回数が減少傾向にある場合は「はい」となります。
Q7	外出を控えていますか	閉じこもりリスクとして、外出を意識して控えているかを問う質問です。
Q7-1	(外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか	外出を控えている理由を問う質問です。この質問により対象者がどういう要因で閉じこもりになっているかが具体的に明らかになります。
Q8	買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか	外出機会が比較的多い買物、散歩での外出頻度を問う質問です。
Q9	外出する際の移動手段は何ですか	外出の際の移動手段を問う質問です。

㊦…基本チェックリストの設問(以下同じ)

## 問3 転倒について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦㊧	この1年間に転んだことがありますか	この1年間に「転倒」の事実があるかどうかを問う質問です。
Q2 ㊦	転倒に対する不安は大きいですか	現在、転倒に対する不安が大きいかどうかを、本人の主観に基づき回答してください。
Q3 ㊧	背中が丸くなってきましたか	高齢になって背中が丸くなってきたかを問う質問です。本人の主観や周囲からの指摘の有無などで回答してください。
Q4 ㊧	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	以前との比較で、歩く速度が遅くなってきたかを問う質問です。本人の主観に基づき回答してください。
Q5 ㊧	杖を使っていますか	杖の使用の有無について、事実として使っているかを回答してください。

㊧…転倒リスク評価の設問(以下同じ)

#### 問4 口腔・栄養について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦	6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	6ヶ月間で2～3Kg以上の体重減少があったかどうかを問う質問です。6ヶ月以上かかって減少している場合は「いいえ」となります。
Q2 ㊦	身長、体重	身長、体重は、整数で記載してください。体重は1カ月以内の値を、身長は過去の測定値を記載して差し支えありません。
Q3 ㊦	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	半年前に比べて固いものが食べにくくなったかどうかを問う質問です。半年以上前から固いものが食べにくく、その状態に変化が生じていない場合は「いいえ」となります。
Q4 ㊦	お茶や汁物等でむせることがありますか	お茶や汁物等を飲む時に、むせることがあるかどうかを、本人の主観に基づき回答してください。
Q5 ㊦	口の渇きが気になりますか	口の中の渇きが気になるかどうかを、本人の主観に基づき回答してください。
Q6	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	口腔機能に関連して、歯磨きを毎日しているかを問う質問です。
Q7	定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか	口腔機能に関連して、定期的に歯科を受診しているかを問う質問です。
Q8	入れ歯を使用していますか	口腔機能に関連して、入れ歯使用の有無を問う質問です。部分入れ歯の場合も「入れ歯」に含めてください。
Q8-1	(入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか	入れ歯がある場合、そのかみ合わせが良いかどうかを問う質問です。
Q8-2	(入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか	入れ歯がある場合、毎日手入れをしているかを問う質問です。
Q9	1日の食事の回数は何回ですか	食生活を問う質問です。普段の生活から平均的な回数を回答してください。
Q10	食事を抜くことがありますか	低栄養のリスクに関する質問です。買い物や調理など生活上の困難と関連づけて支援の必要性を把握することができます。本人の主観に基づき回答してください。
Q11	自分一人でなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか	他者と食事をともにする頻度を問う質問です。孤食による食欲低下や閉じこもりについて判断する材料になります。
Q11-1	(どなたかと食事をともにする機会がある方のみ)食事をともにする人はどなたですか	ともに食事をする人が誰かを問う質問です。周囲のサポート体制を把握することができます。頻度に関係なく、ともに食事をする人全てを回答してください。

## 問5 物忘れについて

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	本人は物忘れがあると思っても、周りの人から指摘されることがない場合は「いいえ」となります。
Q2 ㊦	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	何らかの方法で、自ら電話番号を調べて、電話をかけているかどうかを問う質問です。誰かに電話番号を尋ねて電話をかける場合や、誰かにダイヤルをしてもらい会話だけする場合には「いいえ」となります。
Q3 ㊦	今日が何月何日かわからない時がありますか	今日が何月何日かわからない時があるかどうかを、本人の主観に基づき回答してください。月と日の一方しか分からない場合には「はい」となります。
Q4 ㊦	5分前のことが思い出せますか	短期記憶に関する質問です。本人の主観に基づき回答してください。
Q5 ㊦	その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか	日常の意思決定を行うための認知能力を問う質問です。「いくら困難であるが、できる」は、新しい事態に直面したときのみ「いくら困難な場合です」。
Q6 ㊦	人に自分の考えをうまく伝えられますか	意思の伝達能力を問う質問です。「いくら困難であるが、できる」は、通常は伝えることができるが、言葉を思い出したり考えをまとめるのが困難な場合です。

㊦…認知機能障害程度評価に準じた設問(以下同じ)

## 問6 日常生活について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦㊧	バスや電車で一人で外出していますか	家族等の付き添いなしで、一人でバスや電車を利用して外出しているか、またできるかどうかを問う質問です。バスや電車のないところではそれに準じた公共交通機関に置き換えて回答してください。なお一人で自家用車を運転して外出している(できる)場合も含まれます。
Q2 ㊦㊧	日用品の買物をしていますか	自ら外出し、何らかの日用品の買い物を適切に行っているかどうか、またできるかどうか(例えば、必要な物品を間違いなく購入しているか、できるか)を問う質問です。電話での注文のみの場合は含まれません。
Q2-1	(日用品の買物をしていない、できない方のみ)日用品の買物をする人は主にどなたですか	日常生活の主たる支援者を把握する質問です。複数いる場合は、最も多く買い物をする人を回答してください。
Q3 ㊧	自分で食事の用意をしていますか	普段自分で調理もしくは配膳などの食事の用意をしているか、またできるかを問う質問です。
Q3-1	(自分で食事の用意をしていない、できない方のみ)食事の用意をする人は主にどなたですか	食事に関する支援者を把握する質問です。食事回数や食事を抜く回数と関連づけて、支援の過不足を判断する材料になります。複数いる場合は、最も多く調理をする人を回答してください。
Q4 ㊧	請求書の支払いをしていますか	普段自分で請求書の支払をしているか、またできるかを問う質問です。

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q5 ㊟㊟	預貯金の出し入れをしていますか	自ら預貯金の出し入れをしているかどうか、またできるかどうかを問う質問です。銀行等での窓口手続きも含め、本人の判断により金銭管理を行なっているか、またできるかどうかです。家族等に依頼して、預貯金の出し入れをしている場合は含めません。
Q6 ㊟	食事は自分で食べられますか	食事動作が自分でできるかどうかを問う質問です。道具を使うことを含め、標準的な時間内に食べ終わられれば「できる」とします。
Q7 ㊟	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	ベッドや寝床に移動できるかを問う質問です。車椅子での移動も含んで一人でできるかについて回答してください。
Q8 ㊟	座っていることができますか	座位の保持が可能かを問う質問です。
Q9 ㊟	自分で洗面や歯磨きができますか	整容(洗面、整髪、歯磨き、髭剃り等)が一人で可能かを問う質問です。
Q10 ㊟	自分でトイレができますか	トイレ動作に関して、一人で可能かを問う質問です。
Q11 ㊟	自分で入浴ができますか	自分で入浴ができるかについての質問です。
Q12 ㊟	50m以上歩けますか	歩行能力について、補装具(車椅子、歩行器を除く)の利用を含めて一人で可能かを問う質問です。
Q13 ㊟	階段を昇り降りできますか	階段の昇り降りに関して、一人で可能かを問う質問です。手すりを使用してもかまいません。
Q14 ㊟	自分で着替えができますか	着替えについて、一人で可能かを問う質問です。
Q15 ㊟	大便の失敗がありますか	大便の失敗(失禁)があるかどうかを問う質問です。
Q16 ㊟	尿もれや尿失禁がありますか	小便の失敗(失禁)があるかどうかを問う質問です。
Q17	家事全般ができていますか	日常の家事全般ができていないかを問う質問です。

㊟…老研式活動能力指標に準じた設問(以下同じ)

㊟…バーセルインデックスに準じた設問(以下同じ)

問7 社会参加について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1 ㊦	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	年金などの書類を書けるかを問う質問です。最近では年金に関して提出する書類は少なくなっているため、同様の書類として役所や病院などに出す書類を例示しています。
Q2 ㊦	新聞を読んでいますか	新聞を読んでいるかを問う質問です。
Q3 ㊦	本や雑誌を読んでいますか	本や雑誌を読んでいるかを問う質問です。
Q4 ㊦	健康についての記事や番組に関心がありますか	健康についての記事や番組に関心があるか、本人の主観に基づいて回答してください。
Q5 ㊦㊧	友人の家を訪ねていますか	友人の家を訪ねているかどうかを問う質問です。電話による交流は含みません。また、家族や親戚の家への訪問は含みません。
Q6 ㊦㊧	家族や友人の相談にのっていますか	家族や友人の相談にのっているかどうかを問う質問です。面談せずに電話のみで相談に応じている場合も「はい」とします。
Q7 ㊦	病人を見舞うことができますか	病人を見舞うことができるかを問う質問です。できるかどうかはこれまでの経験などから、本人の主観に基づいて回答してください。
Q8 ㊦	若い人に自分から話しかけることがありますか	若い人に自分から話しかけることがあるかを問う質問です。
Q9	趣味はありますか	趣味があるかを問う設問です。「趣味」かどうかは本人の主観に基づいて回答してください。
Q10	生きがいがありますか	生きがいがあるかを問う設問です。「生きがい」かどうかは本人の主観に基づいて回答してください。
Q11	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか	様々な地域活動を行う組織へ参加する頻度を問う質問です。頻度は本人の主観に基づいて回答してください。
Q12	以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか	ボランティアや仕事を通じた社会参加活動をする頻度を問う質問です。頻度は本人の主観に基づいて回答してください。
Q13	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	(1)、(2)については、面談せずに電話のみで心配事や愚痴(ぐち)を言う場合、聞く場合もその相手に○をします。
Q14	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください	何かあったときの相談相手が誰かを問う質問です。面談せずに電話のみで相談する場合もその相手に○をします。
Q15	友人関係についておうかがいします	友人・知人と会う頻度は本人の主観に基づいて回答してください。

問8 健康について

番号	質問項目	質問の趣旨及び回答方法
Q1	普段、ご自分で健康だと思いますか	主観的な健康感を問う質問です。実際には病気で通院していても、本人がとても健康だと思えば「とても健康」と回答してください。
Q2	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	治療中または後遺症のある病気を問う設問です。
Q3 ㊦	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか	医師の処方した薬を何種類飲んでいるかを問う設問です。転倒リスクや低栄養に関連する多剤服用の有無を確認するための質問です。
Q4	現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか	現在の通院状況を問う質問です。
Q4-1	(通院している方のみ) その頻度は次のどれですか	通院の頻度を問う質問です。
Q4-2	(通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか	通院の際に介助が必要かを問う質問です。
Q5	以下の在宅サービスを利用していますか	現在利用している在宅サービスを問う質問です。
Q6	お酒は飲みますか	飲酒習慣について、どの程度の頻度で飲酒するかを問う質問です。「ほぼ毎日」かは、おおむね週5日以上かどうかを目安に回答してください。
Q7	タバコは吸っていますか	タバコについて、どの程度の頻度で吸うかを問う質問です。「ほぼ毎日」かは、おおむね週5日以上かどうかを目安に回答してください。
Q8 ㊦	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	ここ2週間の状況を、本人の主観に基づいて回答してください。
Q9 ㊦	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	
Q10 ㊦	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	
Q11 ㊦	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	
Q12 ㊦	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	



## 日常生活圏域ニーズ調査における生活機能判定の概要

### 1 基本チェックリスト

- ・判定は、「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」による。
- ・本調査における該当する設問は以下の通り。
- ・基本得点は、①虚弱に関する設問20問で該当しない選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点。

問番号	設問	該当する選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問6-Q2	日用品の買物をしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問6-Q5	預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるだけしていない」or「3. できない」
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」
問2-Q1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. いいえ」
問2-Q2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. いいえ」
問2-Q3	15分位続けて歩いていますか	「2. いいえ」
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか	「1. はい」
問3-Q2	転倒に対する不安は大きいですか	「1. はい」
問4-Q1	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
問4-Q2	身長( )cm、体重( )kg	BMI<18.5
問4-Q3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
問4-Q4	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
問4-Q5	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
問2-Q5	週に1回以上は外出していますか	「2. いいえ」
問2-Q6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. はい」
問5-Q1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	「1. はい」
問5-Q2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
問5-Q3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」
問8-Q8	(ここ2週間)毎日の生活に充実感が無い	「1. はい」
問8-Q9	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	「1. はい」
問8-Q10	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	「1. はい」
問8-Q11	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	「1. はい」
問8-Q12	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	「1. はい」

- ①虚弱…問6-Q1・2・5、問7-Q5・6及び以下の②～⑥までの15問
- ②運動器の機能向上…問2-Q1～3、問3-Q1・2
- ③栄養改善…問4-Q1・2
- ④口腔機能の向上…問4-Q3～5
- ⑤閉じこもり予防・支援…問2-Q5・6
- ⑥認知症予防・支援…問5-Q1～3
- ⑦うつ予防・支援…問8-Q8～12

2 その他の判定・評価

①ADL…問6-Q6～16

問番号	項目	配点	選択肢
問6-Q6	食事	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる」 「3. できない」
問6-Q7	寝床への移動	15: 10: 5: 0:	「1. 受けない」 「2. 一部介助があればできる」 「3. 全面的な介助が必要」 (問6-Q8の回答が「1. できる」「2. 支えが必要」の場合) 「3. 全面的な介助が必要」 (問6-Q8の回答が「3. できない」の場合)
問6-Q9	整容	5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助があればできる」または「3. できない」
問6-Q10	トイレ	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」 「3. できない」
問6-Q11	入浴	5: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」または「3. できない」
問6-Q12	歩行	15: 10: 0:	「1. できる」 「2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」 「3. できない」
問6-Q13	階段昇降	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 介助があればできる」 「3. できない」
問6-Q14	着替え	10: 5: 0:	「1. できる」 「2. 介助があればできる」 「3. できない」
問6-Q15	排便	10: 5: 0:	「1. ない」 「2. ときどきある」 「3. よくある」
問6-Q16	排尿	10: 5: 0:	「1. ない」 「2. ときどきある」 「3. よくある」

○100点:自立

○60点以下:起居移動に介助が必要

○40点以下:ほぼすべてに介助が必要

②IADL(老研指標)…問6-Q1～5

問番号	設問	選択肢
問6-Q1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」 1点
問6-Q2	日用品の買物をしていますか	
問6-Q3	自分で食事の用意をしていますか	
問6-Q4	請求書の支払いをしていますか	
問6-Q5	預貯金の出し入れをしていますか	

○5点: 高い

○4点: やや低い

○0～3点: 低い

③社会参加

・知的能動性(老研指標)…問7-Q1～4

問番号	項目	選択肢
問7-Q1	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	「1. はい」: 1点
問7-Q2	新聞を読んでいますか	
問7-Q3	本や雑誌を読んでいますか	
問7-Q4	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○4点: 高い

○3点: やや低い

○0～2点: 低い

・社会的役割(老研指標)…問7-Q5～8

問番号	項目	選択肢
問7-Q5	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」: 1点
問7-Q6	家族や友人の相談にのっていますか	
問7-Q7	病人を見舞うことができますか	
問7-Q8	若い人に自分から話しかけることがありますか	

○4点: 高い

○3点: やや低い

○0～2点: 低い

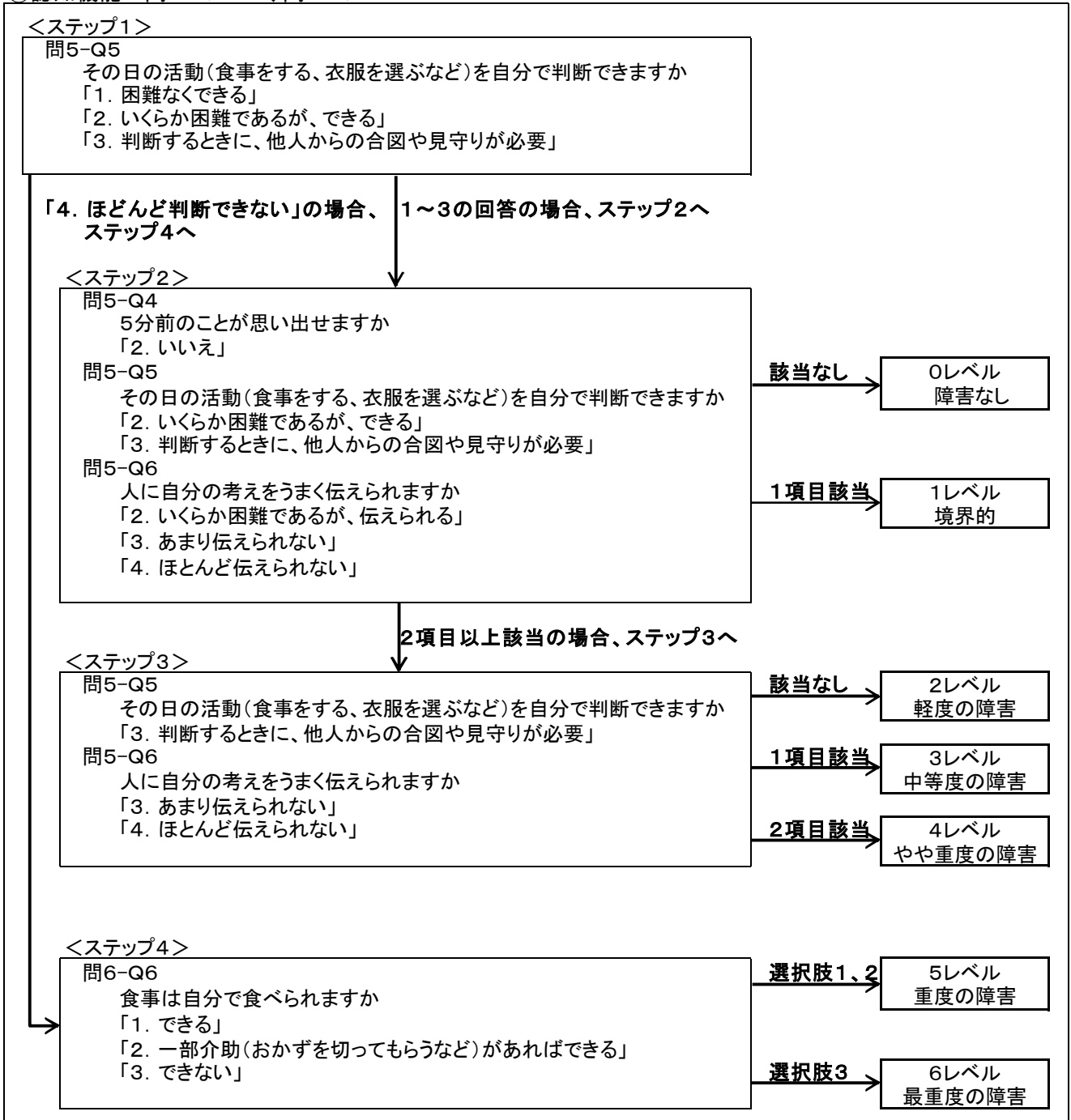
・老研指標総合評価(IADL、知的能動性、社会的役割の合計点)

○11点以上: 高い

○9～10点: やや低い

○8点以下: 低い

④認知機能…問5-Q4～6、問6-Q6



⑤転倒リスク…問3-Q1・3～5、問8-Q3

問番号	設問	配点と選択肢
問3-Q1	この1年間に転んだことがありますか	5:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q3	背中が丸くなってきましたか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問3-Q5	杖を使っていますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問8-Q3	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2:「5. 5種類以上」 0:1～4または6

○6点以上:リスクあり